



# かけはし

令和2年(2020年)

長沢中

8月25日

学校だより

発行責任者

NO. 3

校長 星野 嘉朗

学校教育目標 自己を高め 他を思いやり 自立できる生徒を育てる  
深く考え行動する生徒



## 猛暑は続く...

毎朝の検温・記録表への  
記入をお願いします。

短い夏休みが終わりました。

本当に、あっという間でしたが、猛暑の中でも部活動に取り組む姿が印象に残っています。熱中症のようになってしまった人も多かったのではないのでしょうか。

夏休みが終わっても、各地で40度を超えるところもあり、この暑さはいつまで続くのかとも思っています。

猛暑いやいや酷暑はもう少し続きそうですが、学校はよいよ前期の後半です。いつもはまだ夏休みの時期から6時間の授業というのは、何とも酷な話ですが、これも新型コロナウイルスの影響です。例年よりの10日余り早く授業が始まりました。熱中症のほうがコロナよりも心配な状況ではあります。しかし、新型コロナウイルスの感染は収まるどころか、横須賀市内でも連日複数の感染が報告されています。家族の間での感染も増えてきています。他の地域では学校での集団感染も報告されています。いつも言われているように、本当に、今や誰が、いつ、どこで感染してもおかしくない状況といえます。9月に入れば、期末試験。それが終われば、大幅に縮小されてしまったけれど、3年生にとっては中学最後の体育祭。カラー長も含め、体育祭の実行委員会の組織も立ち上がりました。この動きを止めないよう、一人一人が日々の生活で、体調に気を付け、登校前の検温と記録表への記入、授業でのマスクの着用や手洗い、手指の消毒など気を付けて生活し、取り組みが止まらないようにしてください。

8月19日(水)

## 横須賀市学習状況調査

4月に行われる予定だった、3年生が取り組む全国学力学習状況調査は、今年度は中止となりましたが、例年行われている横須賀市の学習状況調査は、時期を延期し、本校では19日に1年生は国語・数学・理科・社会と質問紙調査、2年生は英語を加えた5教科と質問紙調査、3年生は社会・理科・英語の3教科を行いました。各学年ともに今年度初めての試験の取り組みとなりました。特に1年生は中学入学後初めての試験ということで、かなりの緊張感もあったようです。本来の時期からは4ヶ月ずれてしまい、結果をどう判断するかは、これからですが、9月の期末試験の準備としてどの学年も真剣に取り組む様子が見られました。



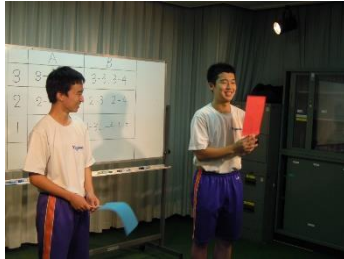
## 体育祭カラー決定

今年度の体育祭は取り組み全体が縮小となり、応援・デコなしで、競技も少なくなり、競技会形式です。カラーは2カラーということで、3年生を中心に取り組みます。20日にはカラー長、副カラー長が正式に決定し、各カラーとも3年生の力強い言葉が聞かれました。21日(金)の昼食時間に、生徒会により、カラー長、副カラー長が放送室に集合し、それぞれの決意表明と、カラーの決定となりました。二人のカラー長、副カラー長共に、カラーが一致団結して、全力で勝利を目



(青の札を掲げるカラー長 磯貝くん)

ちが伝わってき  
ました。是非とも、そ  
の気持ちを行動で  
示せる3年生であ  
ってほしいと思  
います。



(赤の札を掲げるカラー長 本間くん)

取り組みはまだまだこれからです、各カ  
ラーとも3年を中心として、沢中生としてのプ  
ライドを全校で見せてください。

#### 【青カラー】

カラー長 磯貝太一くん (3年2組)  
副カラー長 末廣紗波さん (3年1組)  
3年1・2組 2年1・2組  
1年1・2組

#### 【赤カラー】

カラー長 本間順成くん (3年3組)  
副カラー長 今井祐希くん (3年4組)  
3年3・4組 2年3・4組  
1年3・4・5組



(青副カラー長 末廣さん)



(赤副カラー長 今井くん)

## 現状維持で満足しない!

### 夏休み明けTV全校集会の話

テレビ越しに話すというのは、何とも手ご  
たえがないものです。生徒の皆さんがどんな  
顔をしてどんな風にテレビ画面を見ているの  
か、話を聞いてくれているのか、わかっても  
らえているのかなかなかつかめません。

ですから、話た内容を文章にしておきたい

と思います。読んでみて、あ〜そういえばそ  
んな話だったと思い出してみてください。

…最後まで、全力を尽くして取り組むこと  
に大きな意味があります。人は全力を出し切  
らなければ、もう一つ上のレベルへ成長する  
ことはできません。

同じことが、前期の後半の体育祭の取り組  
みにも言えます。いつもとは全く違う体育祭  
だからといって、手を抜いてしまうのか、取  
り組むべきところは全力で取り組もうとする  
のかは、これからに大きく影響します。3年  
生がリーダー学年としての姿を集団で示すこ  
とができるか、1・2年生がそれを支えるこ  
とができるかどうか、たといいつもの半分以  
下の規模の体育祭でも各学年が全力でその取  
り組みに向かうことができるかどうかは、長  
沢中学校の大きな力になるかどうかです。新  
しい伝統を築いていくのは皆さん自身です。

自らすべきことを、進んで実行することが  
できるか、それとも、先生方にやらされて終  
わってしまうのか、短い取り組み期間ですが、  
1時間1時間に全力を尽くせるかどうか、そ  
れができれば、通常の体育祭と同じような感  
動を手にすることができるでしょう。「やらさ  
れる」から「自分たちで動く」体育祭として  
ほしいと思います。

最後に、「人間は進歩か後退のいずれかであ  
って、その中間はない。現状維持と思うのは  
実は後退している証拠である。」と教育哲学者  
である森信三という人が語っています。現状  
維持に満足せず、常に一つ上を目指していく  
学校を全校で作りに上げてほしいと思います。

